

新発田市病児保育室だより

NO.7 R3.1月吉日

新しい年を迎えました。今年のお正月は、どなたも多かれ少なかれ新型コロナウイルスの影響を受けながら過ごされたことでしょう。寒い日が続く、さまざまな感染症が心配な季節ですが、冬の本番はこれからです。毎日を元気に過ごせるよう、引き続き感染予防に取り組んでいきたいですね。



12月の利用状況

気管支炎	3名
ノロウイルス	5名
胃腸炎	3名
上気道炎	2名
水痘	2名
副鼻腔炎	2名

令和2年12月の利用者の病名は11月に引き続き「ノロウイルス」が全体の1/3を占めました。

新型コロナウイルスの流行のためか、依然としてインフルエンザの流行は始まっていないようです。これまでと変わらず、予防の手を緩めないようにして乗り切っていきましょうね！

病児保育室からのおわがい

★飲食に使用するもの

(弁当箱・スプーン・水筒・マグマグなど)

肌に直接触れるもの

(おしぼり・タオル類・スタイなど)

清潔なものを持たせてください。

★咳がひどく出ているお子さんはマスクを着用してください。無理のない範囲で構いません。

病児保育室 Q&A

Q: 診療情報提供書に有効期限はあるの？

A: 同症状において、発行日より土日祝を除く7日間有効です。7日以内で症状が変わった場合は改めて受診と診療情報提供書の取得が必要です。

普段からチェック！

よく見ておきたい 子どもの様子9項目

普段の様子を把握しておくことで、子どもの体調の変化に早く気付いてあげることができます。日頃からよく観察しておきましょう。



機嫌

機嫌が悪い、なんとなく様子がおかしいのは要注意です。普段話せる子どもがしゃべれないくらい具合が悪い時も早めに受診しましょう。

吐き気

冬に流行するウイルス性胃腸炎は大抵嘔吐から始まります。嘔吐が続く場合は髄膜炎の可能性もあるので至急受診しましょう。

熱

医学的には38度以上の熱がある状態を発熱といいます。普段から平熱を把握しておきましょう。

便のようす

赤(内臓出血、腸重積、食中毒などの可能性)、黒(内臓出血の可能性)、白(胆道閉鎖症、ロタウイルス胃腸炎などの可能性)の便は、スマホなどで撮影して、至急受診しましょう。

口の中

食べ物が飲み込めない、低月齢ならよだれの量が増えるといった様子があれば、口内炎や喉の痛みがあるかも知れません。

皮膚の状態

湿疹や発疹がないか普段から良く見て、異変があったら受診しましょう。皮膚がシワっぽくなったり、つまめるほどになった時は脱水の可能性があるので至急受診します。

眠りの様子

寝起きの機嫌が良くないのはしっかりと眠れていないのかもしれませんが。よく観察して、足りないようなら生活リズムを見直すなどの対応をしましょう。

食欲

あらゆる病気の症状が食欲に影響します。普段より明らかに食欲が落ちて元気がない様子なら、早めに受診しましょう。

おしっこの様子

日頃から量と回数を把握しておきましょう。これらが明らかに減っているときは脱水を起こしかけている可能性があります。飲めるものをこまめに与えましょう。

市ホームページから

病児・病後児保育 検索

【予約・問い合わせ】病児・病後児保育専用施設 22-1121

※ 時間外・利用者がなく閉室する際は、中井保育園へ転送されます。